

平成 28 年 12 月 15 日

薬事・食品衛生審議会
食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会
農薬・動物用医薬品部会報告について

平成 28 年 11 月 17 日付け厚生労働省発食 1117 第 3 号をもって諮問された、食品衛生法（昭和 22 年法律第 233 号）第 11 条第 1 項の規定に基づくダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートに係る食品中の農薬の残留基準の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

今般の残留基準の検討については、農薬取締法に基づく適用拡大申請に伴う基準値設定依頼が農林水産省からなされたことに伴い、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しを含め、食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告を取りまとめるものである。

1. 概要

ダゾメット、メタム、メチルイソチオシアネートがそれぞれ農薬として使用されている。ダゾメット及びメタムは、水の存在下でメチルイソチオシアネートに容易に分解され、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして存在すると考えられている。

このため、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートの食品中における残留基準について、まとめて検討することとする。

(1) 品目名：ダゾメット [Dazomet (ISO)]

メタム [Metam (ISO)]

メタムアンモニウム [Metam-ammonium (ISO)]

メタムナトリウム [Metam-sodium (ISO)]

メタムカリウム [Metam-potassium (ISO)]

メチルイソチオシアネート [Methyl isothiocyanate (ISO)]

(2) 用途：土壌くん蒸剤

メチルイソチオシアネートは土壌くん蒸剤であり、土壌中で気化・拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

ダゾメットはチアジジン骨格をもつ土壌くん蒸剤であり、メタムはジチオカルバメート系の土壌くん蒸剤である。両剤とも土壌中で速やかに分解し、主にメチルイソチオシアネートとなり、このガスが土壌中に拡散して殺菌、殺虫及び殺雑草種子効果を示すと考えられている。

(3) 化学名及びCAS番号

ダゾメット

Tetrahydro-3,5-dimethyl-1,3,5-thiadiazine-2-thione (IUPAC)

2H-1,3,5-Thiadiazine-2-thione, tetrahydro-3,5-dimethyl- (CAS : No. 533-74-4)

メタムアンモニウム

Ammonium methyl dithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, *N*-methyl-, ammonium salt (1:1) (CAS : No. 39680-90-5)

メタムナトリウム

Sodium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monosodium salt (9CI) (CAS : No. 137-42-8)

メタムカリウム

Potassium methyldithiocarbamate (IUPAC)

Carbamodithioic acid, methyl-, monopotassium salt (9CI) (CAS : No. 137-41-7)

メチルイソチオシアネート

Methyl isothiocyanate (IUPAC)

Methane, isothiocyanato- (CAS : No. 556-61-6)

(4) 構造式及び物性

ダゾメット



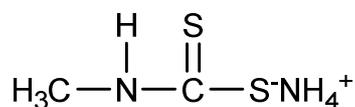
分子式 $C_5H_{10}N_2S_2$

分子量 162.28

水溶解度 3.5 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow} = 0.6$

メタムアンモニウム



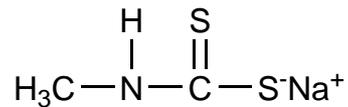
分子式 $C_2H_8N_2S_2$

分子量 124.23

水溶解度 1,368 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}P_{ow} = -2.25 \sim -2.27$ (20°C)

メタムナトリウム



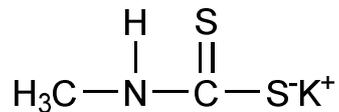
分子式 $\text{C}_2\text{H}_4\text{NNaS}_2$

分子量 129.18

水溶解度 >1000 g/L (25°C)

分配係数 $\log_{10}\text{Pow} = 0.04$ (25°C)

メタムカリウム



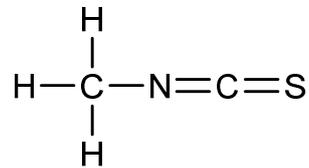
分子式 $\text{C}_2\text{H}_4\text{KNS}_2$

分子量 145.29

水溶解度 88.2 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}\text{Pow} = -2.9$ (25°C)

メチルイソチオシアネート



分子式 $\text{C}_2\text{H}_3\text{NS}$

分子量 73.12

水溶解度 8.2 g/L (20°C)

分配係数 $\log_{10}\text{Pow} = 1.1$ (25°C)

2. 適用の範囲及び使用方法

本剤の適用の範囲及び使用方法は以下のとおり。

作物名となっているものについては、今回農薬取締法（昭和 23 年法律第 82 号）に基づく適用拡大申請がなされたものを示している。

国内での使用方法

(1) 98.0%ダゾメット粉粒剤及び96.5%ダゾメット粉粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
キャベツ	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 株腐病 萎黄病 バーティシウム萎凋病 根こぶ病 ネグセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植21 日前まで	1回	本剤の所定 量を均一に 散布して土 壤と混和す る。	1回
はくさい	根こぶ病 尻腐病 根くびれ病 黄化病 ネグセンチュウ 一年生雑草					
だいこん	ネグセンチュウ	10～20 kg/10 a	は種21日前ま で			
かぶ	バーティシウム黒点病 根こぶ病 萎黄病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	は種又は定植21 日前まで			
こまつな	萎黄病 根こぶ病 一年生雑草		は種10日前ま で			
しろな			は種21日前ま で			
ブロッコリー カリフラワー	根こぶ病 一年生雑草	20 kg/10 a	は種又は定植21 日前まで			
つぼみな						
チンゲンサイ				30 kg/10 a		

(1) 98.0%ダゾメット粉粒剤及び96.5%ダゾメット粉粒剤（つづき）

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
ひろしまな	根こぶ病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
みぶな みずな	立枯病(ビシム菌) 根こぶ病 一年生雑草		は種12日前まで			
はつか だいこん	一年生雑草	は種35日前まで				
きゅうり	苗立枯病(ビシム菌) 苗立枯病(リゾクトニア菌)	200~400 g/m ³	は種又は定植21日前まで		土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	
	つる割病 半身萎凋病 一年生雑草	20~30 kg/10 a			本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	
かぼちゃ	苗立枯病(リゾクトニア菌) フザリウム立枯病 一年生雑草					
メロン	黒点根腐病 つる割病 半身萎凋病 黒変根腐症 一年生雑草					
	紅色根腐病					
すいか	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200~400 g/m ³			土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。	
	つる割病 一年生雑草	20~30 kg/10 a			本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	
にがうり	つる割病 ネオブセンチュウ 一年生雑草					

(1) 98.0%ダズメット粉粒剤及び96.5%ダズメット粉粒剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダズメットを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～300 g/m ³	は種又は定植21日前まで	1回	土壌に本剤の所定量を加え十分混和する。 本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
	萎凋病 褐色根腐病 根腐萎凋病 半身萎凋病 ネオブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a				
	紅色根腐病	30 kg/10 a				
	青枯病	30～60 kg/10 a				
なす	苗立枯病(リゾクトニア菌) 半身萎凋病 ネオブセンチュウ 一年生雑草	30 kg/10 a				
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病 黒あざ病 萎凋病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	植付21日前まで			
ピーマン	半身萎凋病 萎凋病 青枯病 苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草	30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで			
とうがらし類	苗立枯病(リゾクトニア菌) 萎凋病 疫病 青枯病 一年生雑草	30 kg/10 a	定植21日前まで			

(1) 98.0%ダゾメット粉粒剤及び96.5%ダゾメット粉粒剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
ねぎ	黒腐菌核病	30～60 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
	紅色根腐病 ネギハモグリバエ	30 kg/10 a				
	苗立枯病(リゾクトニア菌) 白絹病 小菌核腐敗病 萎凋病 根腐萎凋病 ネオブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10 a				
わけぎ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草					
たまねぎ	黒腐菌核病	30～60 kg/10 a	は種又は定植21日前まで			
	紅色根腐病	30 kg/10 a				
	乾腐病 ネオブセンチュウ	20～30 kg/10 a				
	苗立枯病	20～40 kg/10 a				
	黒穂病 一年生雑草	20～30 kg/10 a	秋期(翌春は種) は種又は定植21日前まで			
一年生雑草						
葉たまねぎ(苗床)		10～20 kg/10 a	は種14日前まで		本剤の所定量を均一に散布して浅く混和する。	
にんにく	紅色根腐病 イモグサセンチュウ 一年生雑草	30 kg/10 a	植付28日前まで		本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	

(1) 98.0%ダズメット粉粒剤及び96.5%ダズメット粉粒剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダズメットを含む農薬の総使用回数
らっきょう	根腐病 乾腐病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	30 kg/10 a	植付 21 日 前まで	1 回	本剤の所定 量を均一に 散布して土 壤と混和す る。	1 回
にら	乾腐病 紅色根腐病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種又は定 植 21 日前 まで			
にんじん	萎凋病 根腐病 しみ腐病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20~30 kg/10 a				
パセリ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 疫病 萎凋病 一年生雑草	30 kg/10 a				
セリ	萎黄病 一年生雑草					
あしたば	苗立枯病(リゾクトニア菌)		は種 10 日 前まで			
しゅんぎく	萎凋病 一年生雑草	20 kg/10 a	は種 21 日 前まで			
ごぼう 葉ごぼう	萎凋病 黒あざ病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	は種 28 日 前まで			
もりあざみ	黒あざ病 半身萎凋病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種 21 日 前まで			
レタス	すそ枯病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	は種又は定 植 14 日前 まで			
	ネコブセンチュウ	30 kg/10 a				

(1) 98.0%ダゾメット粉粒剤及び96.5%ダゾメット粉粒剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダゾメットを含む農薬の総使用回数
非結球レタス	すそ枯病 根腐病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	は種又は定植14日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
食用ぎく	センチュウ類 (ハカレセンチュウを除く) 萎凋病 半身萎凋病、 一年生雑草		30 kg/10 a			
	青枯病					
ふき	半身萎凋病 一年生雑草					
みつば	立枯病	20 kg/10 a				
豆類 (未成熟、ただし、 えだまめ、実えん どう、さやえん どう、さやいんげん を除く)	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種21日前まで			
さやいんげん	苗立枯病(リゾクトニア菌)	20~30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで			
えだまめ	葉腐病 一年生雑草					
	ダイズシストセンチュウ	30 kg/10 a				

(1) 98.0%ダズメット粉粒剤及び96.5%ダズメット粉粒剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダズメットを含む農薬の総使用回数
さやえんどう 実えんどう	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	は種又は定植21日前まで	1回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。	1回
かんしょ	紫紋羽病 つる割病 ネコフセンチュウ 一年生雑草		植付21日前まで			
こんにゃく	根腐病 白絹病 乾腐病 一年生雑草					
さといも さといも(葉柄)	乾腐病 ネコフセンチュウ 一年生雑草					
しょうが	根茎腐敗病	30~60 kg/10 a	定植21日前まで			
	一年生雑草	20~30 kg/10 a				
葉しょうが	根茎腐敗病	30 kg/10 a				
	一年生雑草	20~30 kg/10 a				
みょうが(花穂) みょうが(茎葉)	立枯症 一年生雑草	30 kg/10 a	定植42日前まで			
いちご	萎黄病 萎凋病 炭疽病 芽枯病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	仮植又は定植21日前まで			
	青枯病 疫病	30 kg/10 a				

(1) 98.0%ダズメット粉粒剤及び96.5%ダズメット粉粒剤(つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ダズメットを含む農薬の総使用回数
ほうれんそう	ホリンソウケガコナダニ	20~30 kg/10 a	は種 21 日 前まで	1 回	本剤の所定 量を均一に 散布して土 壤と混和す る。	1 回
	立枯病 萎凋病 株腐病 根腐病 一年生雑草		は種 10 日 前まで (地温 20℃以 上)			
てんさい	叢根病 苗立枯病	200~400 g/m ³	秋期(翌春 は種)			
やまのいも	根腐病 褐色腐敗病 一年生雑草	20~30 kg/10 a	植付 21 日 前まで			
			定植 21 日 前まで			
つるむらさき	ネオブセンチュウ					
しそ	青枯病 一年生雑草	30 kg/10 a	は種 14 日 前まで			
モロヘイヤ	ネオブセンチュウ		定植 30 日 前まで			
チャービル	一年生雑草	20 kg/10 a	は種 42 日 前まで			

(2) 50.0%メタムアンモニウム剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタムを含む農薬の総使用回数
キャベツ	バーティシウム萎凋病	原液として 30 L/10 a	植付 14 日前まで	1 回	(散布全面処理<無被覆>) 無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10 日後にガス抜きを行い、ガス抜き 7～10 日後に植付をする。	1 回
	バーティシウム萎凋病 根こぶ病				(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で 7～10 日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き 7～10 日後に植付をする。	
はくさい	根こぶ病 黄化病		植付 30 日前まで			
こんにやく	根腐病					
だいこん	ネグサセンチュウ	原液として 30 L/10 a	は種 14 日前まで	1 回	(散布全面処理<無被覆>) 無被覆の場合、原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和をして、7～10 日後にガス抜きを行い、ガス抜き 7～10 日後には種をする。	1 回
					(散布全面処理) 原液を水で3倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で 7～10 日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き 7～10 日後には種をする。	

(2) 50.0%メタムアンモニウム剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタムを含む農薬の総使用回数
トマト	青枯病	原液として 30 L/10 a	植付 14 日 前まで	1 回	(散布全面処理) 原液を水で 3 倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で 7~10 日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日後に植付をする。	1 回
	褐色根腐病				(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液 30 L を水と共に 10 a 当たり水量が 3000 L (100 倍希釈) になるように灌水注入して、7~10 日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日後に植付又はは種をする。	
きゅうり すいか	ネコブセンチュウ				(散布全面処理) 原液を水で 3 倍に希釈して、土壌全面に均一に散布し直ちに土壌混和して、ビニール等で 7~10 日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日後に植付をする。	
					(灌水チューブ法) 予め灌水チューブを設置し、ビニール等で被覆する。原液 30 L を水と共に 10 a 当たり水量が 3000 L (100 倍希釈) になるように灌水注入して、7~10 日間被覆した後ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日後に植付又はは種をする。	
いちご	萎黄病					
ほうれんそう	萎凋病		は種 14 日 前まで			

(2) 50.0%メタムアンモニウム剤 (つづき)

作物名	適用雑草名	使用量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用 方 法	メタムを 含む農薬の 総使用回数
ね ぎ (春播露地 栽培苗床) わけぎ (春播露地 栽培苗床) あさつき (春播露地 栽培苗床)	畑地一年生 雑草	原液として 30 L/10 a	は種 14 日 前まで	1 回	(散布全面処理) 原液を水で 3 倍に希釈して、土壌全 面に均一に散布し直ちに土壌混和 して、ビニール等で 1~2 週間被覆した 後ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日 後には種をする。	1 回
					(散布表面処理) 原液を水で 30 倍に希釈して、ジョウロ 等で土壌表面に均一に散布して、ビ ニール等で 1~2 週間被覆した後ガス抜 きを行い、ガス抜き 7~10 日後には 種する。	
たまねぎ (秋播露地 栽培苗床)			は種 30 日 前まで		(散布全面処理) 原液を水で 3 倍に希釈して、土壌全 面に均一に散布し直ちに土壌混和 して、ビニール等で 1~2 週間被覆した 後ガス抜きを行い、ガス抜き 7~10 日 後には種をする。	
					(散布表面処理) 原液を水で 30 倍に希釈して、ジョウロ 等で土壌表面に均一に散布して、ビ ニール等で 1~2 週間被覆した後ガス抜 きを行い、ガス抜き 7~10 日後には 種する。	

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタナトリウム塩を含む農薬の総使用回数	
みずな	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	原液として 60 L/10 a	は種又は定植 の10日前 まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回	
	一年生雑草				所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。		
ほうれんそう	株腐病 立枯病 ホウレンソウケガコ ダニ 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。		
	萎凋病 一年生雑草				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。		
ねぎ わけぎ あさつき	白絹病 一年生雑草				原液として 40 L/10 a		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
	根腐萎凋病 一年生雑草				原液として 60 L/10 a		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。
	黒腐菌核病						予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。
							所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。
		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。					

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
きゅうり	苗立枯病 (リゾクチニア菌)	原液として 60 L/10 a	は種又は 定植の15 日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
	つる割病 一年生雑草	原液として 40~60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
	つる割病 ネオブセンチュウ 一年生雑草				所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
すいか	ネオブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
	つる割病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
かぼちゃ	立枯病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
メロン	ネオブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
	黒点根腐病	原液として 80 L/10 a				

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタナトリウム塩を含む農薬の総使用回数			
ピーマン とうがらし 類	苗立枯病 (リゾクチニア菌) 萎凋病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	は種又は 定植の 15 日前まで	1 回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1 回			
	萎凋病				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
	半身萎凋病				所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。				
かんしょ	ネブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
	つる割病	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。				
にんじん	しみ腐病 ネブセンチュウ 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
トマト ミニトマト	萎凋病 一年生雑草				予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
	萎凋病 半身萎凋病 ネブセンチュウ 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
								所定量の薬液を土壌中約 15 cm の深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタナトリウム塩を含む農薬の総使用回数			
なす	半身萎凋病 ネグセンチュウ	原液として 40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1回			
	一年生雑草	原液として 40 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。				
	苗立枯病 (リゾクニア菌) 半身萎凋病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。				
	半枯病				所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。				
こんにゃく	根腐病	原液として 40～60 L/10 a			は種又は定植の15日前まで		1回	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1回
	ネグセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a						所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	乾腐病	原液として 60 L/10 a						所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	乾性乾腐病 一年生雑草							所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
根腐病	原液として 40～60 L/10 a	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。							
ごぼう	ネグサレセンチュウ 一年生雑草	原液として 40 L/10 a			は種又は定植の15日前まで		1回	所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1回
さといも								乾腐病	
	バーティシウム黒点病 ネグサレセンチュウ 一年生雑草	原液として 40～60 L/10 a						所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
だいこん	バーティシウム黒点病 一年生雑草		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。						

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
いちご	萎黄病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。					
萎黄病 ネグサセンチュウ 一年生雑草	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。					
みょうが (花穂) みょうが (茎葉)	根茎腐敗病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
しょうが					予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
かぶ	萎黄病 一年生雑草				原液として 40 L/10 a	
		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。				
さやえんどう 実えんどう	萎凋病	原液として 60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	1回
	苗立枯病 (リゾクトニア菌) 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
キャベツ	パーティシウム 萎凋病	原液として 60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	1回
	根こぶ病 一年生雑草	原液として 40~60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
はくさい	根こぶ病 根くびれ病 黄化病 一年生雑草		原液として 60 L/10 a		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	たまねぎ	乾腐病 黒腐菌核病 一年生雑草			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
		乾腐病			所定量の薬液を積み上げた土壌表面に散布し直ちに被覆する。	
レタス 非結球レタス	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	原液として 80 mL/m ²	は種又は定植の10日前まで		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
	ネグサレンチュウ 一年生雑草	原液として 40~60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	根腐病	原液として 60 L/10 a			予め被覆した内で、所定量の薬液を水で希釈し土壌表面に散布または灌水する。	
にら にら(花茎)	ビクバイン病 すそ枯病 一年生雑草		所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。			
	乾腐病 一年生雑草		所定量の薬液を土壌中約15 cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。			
	乾腐病 葉腐病 一年生雑草					
	ネグサレンチュウ 一年生雑草					

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
ブロッコリー	ネグセンチュウ	原液として 40～60 L/10 a	は種又は定植の15日前まで	1回	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1回
	一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
やまのいも	ネグセンチュウ	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
	根腐病 一年生雑草				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
ばれいしょ	そうか病 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	
にんにく	乾腐病 イモグサセンチュウ 一年生雑草	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
	イモグサセンチュウ		所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。			
チンゲンサイ	ネグセンチュウ	原液として 40 L/10 a	は種又は定植の10日前まで	1回	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1回
	萎黄病	原液として 60 L/10 a			所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	

(3) 30.0%メタムナトリウム液剤 (つづき)

作物名	使用目的	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メタムナトリウム塩を含む農薬の総使用回数
にら にら(花茎)	前作のにら又はにら(花茎)の古株枯死		前作のにら、にら(花茎)の栽培終了後からは種又は定植の10日前まで	1回	所定量の薬液を土壌中約15cmの深さに注入し直ちに被覆または覆土・鎮圧する。	1回
	前作のにら又はにら(花茎)の古株枯死、初ニ蔓延防止				所定量の薬液を土壌表面に散布し、直ちに混和し被覆する。	
トマト ミニトマト いちご ピーマン とうがらし類 きゅうり メロン すいか なす ほうれんそう はくさい ねぎ チンゲンサイ みずな	前作のいちごの古株枯死	原液として 60 L/10 a	前作のトマト、ミニトマト、いちご、ピーマン、とうがらし類、きゅうり又はメロンの栽培終了後からは種又は定植の15日前まで		1回	
	前作のトマト、ミニトマト又はきゅうりの古株枯死、初ニブセンチュウ蔓延防止					
	前作のメロンの古株枯死、アザミヤカ類蔓延防止					
	前作のトマト又はミニトマトの古株枯死、コジラミ類蔓延防止	原液として 40~60 L/10 a				
	前作のピーマン、とうがらし類又はきゅうりの古株枯死、アザミヤカ類蔓延防止					

(4) 20.0%メチルイソチオシアネート油剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数	
ほうれんそう	苗立枯病 (ピシウム菌)	40 L/10 a (1 穴当たり 4 mL)	は種の 30 日前 まで	1 回	圃場を耕起・ 整地した後、 30 cm 間隔のチ ドリに深さ約 12~15 cm の 穴をあけ、所 定量を注入 し、直ちに覆 土しポリエチ レン、ビニール等で被 覆する。 薬剤処理 7~ 10 日後にガス 抜き作業を行 う。	1 回	
トマト ミニトマト	萎凋病 センチュウ類	30~40 L/10 a (1 穴当たり 3~4 mL)	は種又は植 付けの 21 日前 まで				
なす	半身萎凋病 半枯病 センチュウ類						
きゅうり すいか	つる割病 センチュウ類						
レタス 非結球レタス	根腐病 センチュウ類						
たまねぎ	乾腐病 センチュウ類						
いちご	萎黄病 センチュウ類						
やまのい も	褐色腐敗病 センチュウ類						
ふき	半身萎凋病 センチュウ類						
ねぎ あさつき わけぎ	白絹病 萎凋病 センチュウ類						植付けの 30 日前まで
メロン	つる割病 センチュウ類						

(4) 20.0%メチルイソチオシアネート油剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
にんじん	センチュウ類	30～40 L/10 a (1 穴当たり 3～4 mL)	植付けの28 日前まで	1 回	圃場を耕起・整地した後、30 cm 間隔のチドリに深さ約 12～15 cm の穴をあけ、所定量を注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理 7～10 日後にガス抜き作業を行う。	1 回
	萎黄病					
だいこん	センチュウ類	20～40 L/10 a (1 穴当たり 2～4 mL)	は種又は植付けの21 日前まで			
こんにやく らっきょう	根腐病 センチュウ類	30～40 L/10 a (1 穴当たり 3～4 mL)				

(5) 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1, 3-ジクロロプロペン油剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
しょうが	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付けの21 日前まで	1 回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約 12～15 cm に注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理 7～14 日後にガス抜き作業を行う。	1 回
	根茎腐敗病 立枯病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
ごぼう	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種の21 日前まで			
	萎凋病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
ねぎ わけぎ あさつき	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付けの14 日前まで			
	萎凋病 白絹病 黒腐菌核病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	根腐萎凋病	40 L/10 a				

(5) 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1, 3-ジクロロプロペン油剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
たまねぎ	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	乾腐病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	黒腐菌核病	30 L/10 a				
ふき	センチュウ類	20～30 L/10 a	植付の30日前まで			
	半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a				
トマト トマト	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	半身萎凋病	30 L/10 a				
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)	40 L/10 a				
	萎凋病 根腐萎凋病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
だいこん	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	根こぶ病 パーティリウム 黒点病	30 L/10 a				
	萎黄病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の14日前まで (砂質土)			
	根こぶ病 パーティリウム 黒点病	30 L/10 a				
	萎黄病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
				圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。 薬剤処理7日後にガス抜き作業を行う。		

(5) 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1, 3-ジクロロプロペン油剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
すいか	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	つる割病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
メロン	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで			
	つる割病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
ほうれんそう	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種の30日前まで		圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土し、ポリフィルム、ビニール等で被覆する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	
	バーティシウム 萎凋病	30 L/10 a				
	萎凋病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	苗立枯病 (ピシウム菌)	40 L/10 a				
かぶ	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種の21日前まで	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。		
	根こぶ病 バーティシウム 黒点病	30 L/10 a				
	萎黄病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
らっきょう	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	黒腐菌核病 根腐病 乾腐病 一年生雑草	30～40 L/10 a				

(5) 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1, 3-ジクロロプロペン油剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
にんにく	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の30日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	乾腐病 紅色根腐病 黒腐菌核病 一年生雑草	30 L/10 a				
キャベツ	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	バーティリウム 萎凋病	40 L/10 a				
	萎黄病 根こぶ病 菌核病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
はくさい	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	黄化病	30 L/10 a				
	萎黄病 根こぶ病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
レタス 非結球レタス	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	バーティリウム 萎凋病	30 L/10 a				
	根腐病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
いちご	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで			
	疫病 萎凋病	30 L/10 a				
	萎黄病 炭疽病 一年生雑草	30～40 L/10 a				

(5) 20.0%メチルイソチオシアネート・40.0%1, 3-ジクロロプロペン油剤 (つづき)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	メチルイソチオシアネートを含む農薬の総使用回数
きゅうり	センチュウ類	20～30 L/10 a	は種又は植付の21日前まで	1回	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15 cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回
	つる割病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
にんじん	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	萎凋病 しみ腐病 黒しみ病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
	センチュウ類	20～30 L/10 a				
なす	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	萎凋病 半枯病 半身萎凋病 一年生雑草	30 L/10 a				
こんにゃく	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	乾腐病 根腐病 白絹病 一年生雑草	30～40 L/10 a				
やまのいも	センチュウ類	20～30 L/10 a				
	褐色腐敗病 一年生雑草	30～40 L/10 a				

3. 作物残留試験

(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

- ・ダゾメット
- ・メタムアンモニウム
- ・メタムナトリウム
- ・メチルイソチオシアネート (以下、MITC という)

② 分析法の概要

i) ダゾメット、メタムアンモニウム、メタムナトリウム及びMITC

試料に水及び酢酸エチル又はヘキサンを加え、蒸留装置を用いて加熱還流し、MITC並びにダゾメット、メタムアンモニウム及びメタムナトリウムから生成したMITCを蒸留する。留出液からヘキサンまたは酢酸エチルを分取し、高感度窒素・リン検出器付きガスクロマトグラフ(GC-NPD)で定量する。

定量限界：0.002～0.02 ppm

ii) MITC

試料に水及び *n*-ヘキサンまたは酢酸エチルを加えて加熱還流し、留出液からヘキサンまたは酢酸エチルを分取し、炎光光度型検出器（硫黄用干渉フィルター）付きガスクロマトグラフ（GC-FPD(S)）又はGC-NPDで定量する。

定量限界：0.003～0.05 ppm

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要については別紙 1-1、1-2、1-3 及び 1-4 を参照。

4. ADI 及び ARfD の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項第 1 号及び第 2 項の規定に基づき、食品安全委員会あて意見を求めたダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートに係る食品健康影響評価において、以下のとおり評価されている。

(1) ADI

① ダゾメット

無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day

(動物種) 雌イヌ

(投与方法) 混餌

(試験の種類) 慢性毒性試験

(期間) 1 年間

安全係数：100

ADI：0.004 mg/kg 体重/day

② メタムアンモニウム

無毒性量：0.5 mg/kg 体重/day

ADI 設定根拠資料① 慢性毒性試験

(動物種)	イヌ
(投与方法)	カプセル経口
(期間)	1年間
ADI 設定根拠資料②	繁殖毒性試験
(動物種)	雄ラット
(投与方法)	強制経口
(期間)	2世代

安全係数：100
ADI：0.005 mg/kg 体重/day

③ メタムナトリウム及びメタムカリウム

無毒性量：0.75 mg/kg 体重/day

(動物種)	雄イヌ
(投与方法)	強制経口
(試験の種類)	慢性毒性試験
(期間)	1年間

安全係数：100
ADI：0.0075 mg/kg 体重/day

食品安全委員会は、メタムカリウムはメタムナトリウムと毒性が同等と考えられたことから、ADIの設定に当たってはメタムナトリウムの各種試験結果を基に評価を行った。

④ メチルイソチオシアネート

無毒性量：0.4 mg/kg 体重/day

ADI 設定根拠資料①	亜急性毒性試験
(動物種)	イヌ
(投与方法)	強制経口
(期間)	90日間
ADI 設定根拠資料②	慢性毒性試験
(動物種)	イヌ
(投与方法)	強制経口
(期間)	1年間

安全係数：100
ADI：0.004 mg/kg 体重/day

(2) ARfD

① ダゾメット

無毒性量：2.8 mg/kg 体重
(動物種) 雄イヌ
(投与方法) 混餌
(試験の種類) 亜急性毒性試験
安全係数：100
ARfD：0.028 mg/kg 体重

② メタムアンモニウム

無毒性量：3 mg/kg 体重/day
(動物種) イヌ
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) 慢性毒性試験
安全係数：100
ARfD：0.03 mg/kg 体重

③ メタムナトリウム及びメタムカリウム

無毒性量：2.16 mg/kg 体重/day
ARfD 設定根拠資料① 発生毒性試験
(動物種) ラット
(投与方法) 強制経口
ARfD 設定根拠資料② 発生毒性試験
(動物種) ウサギ
(投与方法) 強制経口
安全係数：100
ARfD：0.021 mg/kg 体重

食品安全委員会は、メタムカリウムはメタムナトリウムと毒性が同等と考えられたことから、ARfDの設定に当たってはメタムナトリウムの各種試験結果を基に評価を行った。

④ メチルイソチオシアネート

無毒性量：10 mg/kg 体重/day
(動物種) 雄マウス及びウサギ
(投与方法) 強制経口
(試験の種類) 一般薬理試験
安全係数：100
ARfD：0.1 mg/kg 体重

(3) グループ ADI 及びグループ ARfD の設定

食品安全委員会は、総合的な評価において、ダゾメット及びメタムは農薬として散布された後、土壌中でメチルイソチオシアネートに分解され活性成分となること、植物体内では概ねメチルイソチオシアネートとして残留すると考えられることから、メチルイソチオシアネートを総合的な評価対象物質としており、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートのグループ ADI 及びグループ ARfD は、メチルイソチオシアネートの ADI 及び ARfD を用いて、それぞれ 0.004 mg/kg 体重/day 及び 0.1 mg/kg 体重 と設定した。

5. 諸外国における状況

JMPR における毒性評価はなされておらず、国際基準も設定されていない。

米国、カナダ、EU、豪州及びニュージーランドについて調査した結果、EU において果菜類、葉菜類等に基準値が設定されている。

6. 基準値案

(1) 残留の規制対象

メチルイソチオシアネート、ダゾメットをメチルイソチオシアネートに換算したものと及びメタムをメチルイソチオシアネートに換算したものの和とする。

なお、食品安全委員会による食品健康影響評価においては、ダゾメット、メタム及びメチルイソチオシアネートにおける農産物中の暴露評価対象物質としてメチルイソチオシアネートを設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

(3) 暴露評価

① 長期暴露評価

1日当たり摂取する農薬等の量のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照。

	TMDI/ADI (%) 注)
一般 (1 歳以上)	22.2
幼小児 (1~6 歳)	42.6
妊婦	21.6
高齢者 (65 歳以上)	25.3

注) 各食品の平均摂取量は、平成 17 年~19 年度の食品摂取頻度・摂取量調査の特別集計業務報告書による。

TMDI 試算式：基準値案×各食品の平均摂取量

② 短期暴露評価

各食品の短期推定摂取量（ESTI）を推定したところ、一般（1歳以上）及び幼小児（1～6歳）における摂取量は急性参照用量（ARfD）を超えていない^注。詳細な暴露評価は別紙4-1及び4-2参照。

注）基準値案を用い、平成17年～19年度の食品摂取頻度・摂取量調査及び平成22年度の厚生労働科学研究の結果に基づきESTIを推定した。

（4）ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートについては、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

ダズネット作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
ばれいしょ (塊茎)	6	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付25日前	137	圃場A:0.021
					植付18日前	102	圃場B:0.043
					植付36日前	137	圃場C:0.010
					植付16日前	108	圃場D:0.007
	植付23日前		129		圃場E:0.023		
	植付20日前		134		圃場F:0.047		
	植付36日前		137		圃場A:0.009		
	植付16日前		108		圃場B:0.003		
4	20 kg/10 a 土壌混和处理	植付23日前	129	圃場C:0.015			
		植付20日前	134	圃場D:0.046			
		植付18日前	224	圃場A:<0.002			
		植付20日前	221	圃場B:<0.002			
さといも (塊茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付20日前	140	圃場A:<0.002
かんしょ (塊茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付21日前	128	圃場B:<0.002
					植付22日前	184	圃場A:0.010
やまのいも (塊茎)	5	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付19日前	162	圃場B:0.022
					植付28日前	243	圃場C:<0.005
					植付20日前	227	圃場D:<0.005
					植付24日前	187	圃場F:0.014
	5		30 kg/10 a 土壌混和处理		植付22日前	184	圃場A:0.008
					植付19日前	162	圃場B:0.023
					植付28日前	243	圃場C:<0.005
					植付20日前	227	圃場D:0.005
こんやくいも (球茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付27日前	183	圃場A:<0.005
てんさい (根部)	2	98.0%粉粒剤	400 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種210日前+植付226日前	369	圃場A:<0.005 (#) ^{注2)}
					は種203日前+植付250日前	401	圃場B:<0.005 (#)
だいこん (根部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:<0.005
					は種21日前	90	圃場B:<0.005
	2		30 kg/10 a 土壌混和处理		は種20日前	78	圃場A:<0.002
					は種17日前	73	圃場B:0.005
だいこん (葉部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	68	圃場A:0.005
					は種21日前	90	圃場B:<0.005
	2		30 kg/10 a 土壌混和处理		は種20日前	78	圃場A:<0.002
					は種17日前	73	圃場B:0.005
だいこん (つまみ菜)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	27	圃場A:0.021
だいこん (間引き菜)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種17日前	35	圃場B:0.599
					は種20日前	34	圃場A:0.005
はつかだいこん (根部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種35日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005 (1回, は種35日前, 63日)
						84, 89, 94	圃場B:0.005 (1回, は種35日前, 84日)
はつかだいこん (葉部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種35日前	63, 68, 73	圃場A:<0.005 (1回, は種35日前, 63日)
						84, 89, 94	圃場B:<0.005 (1回, は種35日前, 84日)
かぶ (葉部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005
					は種22日前	92	圃場B:<0.005
	2		30 kg/10 a 土壌混和处理		は種20日前	52	圃場A:<0.005
					は種22日前	92	圃場B:<0.005
かぶ (根部)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	52	圃場A:<0.005
					は種22日前	92	圃場B:<0.005
	2		30 kg/10 a 土壌混和处理		は種20日前	52	圃場A:<0.005
					は種22日前	92	圃場B:<0.005
はくさい (茎葉)	4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種30日前	100	圃場A:<0.006
					は種31日前	164	圃場B:<0.006
					定植20日前	83	圃場C:<0.005
					定植20日前	74	圃場D:<0.005
キャベツ (葉球)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	92	圃場A:<0.005
こまつな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 20日前	33, 43	圃場A:0.004 (1回, は種20日前, 43日)
						31, 41	圃場B:0.004 (1回, は種10日前, 31日)
みずな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	38	圃場A:<0.005
						圃場B:<0.005	
	2		50 kg/10 a 土壌混和处理	圃場A:0.006 (#)			
				圃場B:0.014 (#)			
みぶな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21, 24, 28日前	35, 38, 42	圃場A:<0.009 (1回, は種21日前, 35日)
						32, 35, 39	圃場B:<0.009 (1回, は種21日前, 32日)

ダズネット作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		経過日数
チンゲンサイ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	48	圃場A:0.003
						47	圃場B:<0.002
カリフラワー (花蕾)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植24日前	79	圃場A:<0.002
						125	圃場B:<0.002
ブロッコリー (花蕾)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	76	圃場A:<0.002
						113	圃場B:<0.002
しろな (茎葉)	1	98.0%粉粒剤	15 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種18日前	50	圃場A:<0.01
	2		30 kg/10 a 土壌混和处理			50	圃場A:<0.01
ひろしまな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植11日前 定植21日前	56, 66	圃場A:<0.004 (1回, 定植11日前, 56日)
						66, 76	
つぼみな (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	85	圃場A:0.032
						83	圃場B:<0.008
ごぼう (根部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	185	圃場A:<0.004
						182	圃場B:<0.004
しゅんぎく (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種12日前	57	圃場A:<0.004
						72	圃場B:0.013
レタス (茎葉)	4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	53	圃場A:<0.004
						59	圃場B:0.004
菜ごぼう (茎葉及び根部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種14, 21, 24日前	91, 98, 101	圃場A:<0.02 (1回, は種14日前, 91日)
							圃場B:<0.02 (1回, は種14日前, 91日)
やまごぼう (根部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	161, 168, 175	圃場A:<0.008 (1回, は種21日前, 161日)
							圃場B:<0.008 (1回, は種24日前, 161日)
ふき (可食部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	353	圃場A:<0.008
						110	圃場B:<0.008
食用ぎく (花全体)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	127	圃場A:<0.004
						144	圃場B:<0.004
たまねぎ (鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理	1	は種17日前	270	圃場A:<0.005
						273	圃場B:0.017
	2		20 g/m ² (苗床) 土壌混和处理		は種14日前	255	圃場A:<0.002
					239	圃場B:<0.002	
	2		30 kg/10 a 土壌混和处理		定植21日前	245	圃場A:0.014
					200	圃場B:0.014	
2	60 kg/10 a 土壌混和处理	定植21日前	131, 138, 145	圃場A:0.02 (1回, 定植21日前, 131日)			
		224, 231, 238	圃場B:<0.02 (1回, 定植21日前, 224日)				
葉たまねぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種17日前+定植35日前	236	圃場A:0.048 (#)
					は種15日前+定植34日前	184	圃場B:0.021 (#)
ねぎ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.002 (#)
					は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.005 (#)
	2		30 g/m ² (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	は種14日前+定植20日前	115	圃場A:0.003 (#)	
				は種22日前+は種20日前	164	圃場B:0.005 (#)	
	4		30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	は種14日前	335	圃場A:<0.002	
				は種22日前	245	圃場B:0.003	
	4		30 kg/10 a 土壌混和处理	定植20日前	115	圃場C:0.003	
				164	圃場D:0.005		
4	60 kg/10 a 土壌混和处理	定植21日前	141, 148, 155	圃場A:<0.02 (1回, 定植21日前, 141日)			
		84, 91, 98	圃場B:<0.02 (1回, 定植21日前, 84日)				
4	60 kg/10 a 土壌混和处理	定植14日前	172, 179, 186	圃場C:<0.02 (1回, 定植14日前, 172日)			
		55, 62, 69	圃場D:<0.02 (1回, 定植14日前, 55日)				

ダズネット作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^(注1) (ppm)		
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		経過日数	
葉ねぎ (茎葉)	4	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	136	圃場A:<0.002	
						97	圃場B:<0.009	
					は種18日前	245	圃場C:<0.002	
	2		30 g/m ² (苗床) 土壌混和处理	2	は種16日前	252	圃場D:<0.002	
						は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)
			は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.010 (#)			
2	30 g/m ² (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種18日前+定植20日前	136	圃場A:<0.002 (#)			
				は種16日前+定植20日前	97	圃場B:0.014 (#)		
にんにく (鱗片)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付27日前	289	圃場A:0.021	
					植付22日前	295	圃場B:<0.004	
にら (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	213	圃場A:<0.008	
						144	圃場B:<0.008	
わけぎ (葉及び鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植14, 21, 28日前	47, 48, 54	圃場A:0.01 (1回, 定植21日前, 48日)	
						47, 54, 54	圃場B:<0.01 (1回, 定植21日前, 54日)	
	2					30 kg/10 a 土壌混和处理	47, 48, 54	圃場A:0.02 (1回, 定植21日前, 48日)
							47, 54, 54	圃場B:<0.01 (1回, 定植21日前, 54日)
らっきょう (鱗茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	植付20日前	292	圃場A:0.016	
					植付31日前	314	圃場B:<0.013	
にんじん (根部)	3	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	154	圃場A:<0.005	
					は種21日前	126	圃場B:<0.005	
					は種26日前	124	圃場C:<0.005	
	5		30 kg/10 a 土壌混和处理		は種20日前	154	圃場A:<0.005	
					は種21日前	126	圃場B:<0.005	
					は種26日前	124	圃場C:<0.005	
					92	圃場D:<0.005		
					は種21日前	83	圃場E:<0.005	
バセリ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	80, 94	圃場A:0.005	
						80, 95	圃場B:0.007	
セルリー (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	91	圃場A:0.002	
						114	圃場B:0.002	
みつば (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	80	圃場A:<0.02	
						130	圃場B:<0.02	
あしたば (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種10, 21日前	248, 259	圃場A:<0.04 (1回, は種10日前, 248日)	
						223, 237	圃場B:<0.04 (1回, は種10日前, 223日)	
トマト (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	83	圃場A:<0.005	
						92	圃場B:<0.005	
	2		60 kg/10 a 土壌混和处理		定植22日前	71, 78, 85	圃場A:<0.02 (1回, 定植22日前, 71日)	
定植21日前	77, 84, 91	圃場B:0.111 (1回, 定植21日前, 91日)						
ミニトマト (果実)	2	98.0%粉粒剤	60 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	98, 105, 112	圃場A:<0.02 (1回, 定植21日前, 98日)	
						80, 87, 94	圃場B:<0.02 (1回, 定植21日前, 80日)	
ピーマン (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21, 27, 42日前	72, 78, 93	圃場A:<0.02 (1回, 定植21日前, 72日)	
						87, 94, 108	圃場B:<0.02 (1回, 定植21日前, 87日)	
なす (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植20日前	66	圃場A:<0.005	
					定植21日前	51	圃場B:<0.005	
甘長とうがらし (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	106	圃場A:0.003	
					定植21日前	73	圃場B:<0.003	
ししとう (果実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	84	圃場A:<0.004	
						76	圃場B:<0.004	

ダズネット作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
きゅうり (果実)	22	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	67	圃場A:<0.005
			30 kg/10 a 土壌混和处理		定植20日前	55	圃場B:0.028
					定植21日前	67	圃場C:<0.005
					定植20日前	55	圃場D:0.036
						54	圃場E:0.002
						58	圃場F:0.003
						75	圃場G:0.025
					定植23日前	75	圃場G:0.025
					定植20日前	47	圃場H:0.014
					定植16日前	45	圃場I:0.036
					定植29日前	64	圃場J:0.033
			定植21日前		55	圃場K:0.005	
			定植11日前		49	圃場L:<0.002	
			400 g/m ³ (苗床) 土壌混和处理		は種16日前	106	圃場M:<0.005
					は種18日前	79	圃場N:<0.005
					は種21日前	90	圃場O:<0.002
					は種11日前	70	圃場P:0.003
					は種2日前	83	圃場Q:0.006
					は種21日前	73	圃場R:0.003
					は種11日前	66	圃場S:<0.002
					は種7日前	68	圃場T:<0.002
					は種14日前	71	圃場U:0.016
	は種1日前	74		圃場V:0.005			
	8	400 g/m ³ (苗床)+20 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種21日前+定植20日前	54	圃場A:<0.002 (#)	
				は種11日前+定植20日前	58	圃場B:0.003 (#)	
				は種2日前+定植23日前	75	圃場C:0.016 (#)	
				は種21日前+定植20日前	47	圃場D:0.030 (#)	
				は種11日前+定植21日前	55	圃場E:0.004 (#)	
				は種7日前+定植11日前	49	圃場F:<0.002 (#)	
				は種14日前+定植16日前	45	圃場G:0.026 (#)	
				は種1日前+定植29日前	64	圃場H:0.028 (#)	
				は種16日前+定植21日前	67	圃場A:<0.005 (#)	
				は種18日前+定植20日前	55	圃場B:0.054 (#)	
				は種21日前+定植20日前	54	圃場C:0.003 (#)	
				は種11日前+定植20日前	58	圃場D:0.005 (#)	
				は種2日前+定植23日前	75	圃場E:0.020 (#)	
は種21日前+定植20日前				47	圃場F:0.029 (#)		
10	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種11日前+定植21日前	55	圃場G:0.002 (#)		
			は種7日前+定植11日前	49	圃場H:<0.002 (#)		
			は種14日前+定植16日前	45	圃場I:0.032 (#)		
			は種1日前+定植29日前	64	圃場K:0.030 (#)		
			定植23日前	139	圃場A:0.018		
			定植20日前	89	圃場B:0.022		
			は種16日前	139	圃場A:<0.002 (#)		
			は種14日前	112	圃場B:0.002 (#)		
			は種16日前+定植23日前	139	圃場A:0.010 (#)		
			は種14日前+定植20日前	89	圃場B:0.007 (#)		
かぼちゃ (果実)	2	98.0%粉粒剤	1	定植23日前	139	圃場A:<0.002 (#)	
				定植20日前	89	圃場B:0.002 (#)	
				は種14日前	112	圃場B:0.002 (#)	
	2	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種16日前+定植23日前	139	圃場A:0.010 (#)	
				は種14日前+定植20日前	89	圃場B:0.007 (#)	
				定植20日前	81	圃場B:<0.005	
すいか (果実)	2	98.0%粉粒剤	1	定植20日前	90	圃場A:<0.005	
				81	圃場B:<0.005		
				は種20日前	112	圃場A:<0.005	
	2	400 g/m ³ (苗床)+30 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種14日前	132	圃場B:<0.005	
				は種14日前+定植20日前	90	圃場A:<0.005 (#)	
				は種20日前+定植20日前	81	圃場B:<0.005 (#)	
メロン (果実)	4	98.0%粉粒剤	1	定植13日前	82	圃場A:0.002	
				定植16日前	90	圃場B:0.002	
				は種9日前	93	圃場C:<0.002	
	2	400 g/m ³ (苗床)+40 kg/10 a 土壌混和处理	2	は種14日前	103	圃場D:<0.002	
				は種9日前+定植13日前	82	圃場A:0.002 (#)	
				は種14日前+定植16日前	90	圃場B:0.002 (#)	
にがうり (果実)	2	98.0%粉粒剤	1	定植21日前	81	圃場A:<0.01	
				定植22日前	63	圃場B:0.02	

ダズネット作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
ほうれんそう (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	60	圃場A:0.005
					は種22日前	53	圃場B:0.005
	は種20日前		60		圃場A:0.005		
	は種22日前		53		圃場B:0.010		
	は種10, 14日前		52, 56		圃場C:0.023 (1回, は種14日前, 56日)		
			45, 49		圃場D:0.023 (1回, は種10日前, 45日)		
	は種10日前		50, 55		圃場E:0.058 (1回, は種10日前, 50日)		
			55		圃場F:0.025		
			41		圃場G:<0.002		
			39		圃場H:0.028		
47		圃場I:0.005					
51		圃場J:0.012					
48	圃場K:0.008						
しょうが (根茎)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	191	圃場A:<0.005
					定植24日前	202	圃場B:<0.005
	定植21日前		191		圃場A:<0.005		
	定植24日前		202		圃場B:<0.005		
	定植21日前		197, 204, 211		圃場A:<0.02 (1回, 定植21日前, 197日)		
			224, 231, 238		圃場B:<0.02 (1回, 定植21日前, 224日)		
2	60 kg/10 a 土壌混和处理	定植21日前	197, 204, 211	圃場A:<0.008 (1回, 定植23日前, 115日)			
葉しょうが (根茎及び茎)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植23日前	115, 120, 127	圃場A:<0.008 (1回, 定植23日前, 115日)
					定植21日前	97, 104, 111	圃場B:<0.008 (1回, 定植21日前, 97日)
えんどう (未成熟子実)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種28日前	200	圃場A:<0.002
さやえんどう (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種20日前	112	圃場B:0.003
					は種28日前	161	圃場A:0.006
未成熟いんげん (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種21日前	96, 103	圃場B:0.018 (1回, は種20日前, 96日)
						69	圃場A:<0.004
えだまめ (さや)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	82	圃場B:<0.004
						79	圃場A:<0.009
モロヘイヤ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植30日前	92, 99	圃場A:<0.008 (1回, 定植30日前, 92日)
					定植33日前	101, 108	圃場B:<0.008 (1回, 定植33日前, 101日)
つるむらさき (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植22日前	57	圃場A:<0.004
							圃場B:<0.004
さといも (葉柄)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	125	圃場A:<0.004
							圃場B:<0.004
いちご (果実)	1	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植21日前	68	圃場A:<0.009
							圃場B:<0.009
	4		30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理		定植20日前	164	圃場A:<0.005
			30 kg/10 a (仮苗床) 土壌混和处理		仮植17日前	124	圃場B:0.005
			215			圃場C:<0.005	
2	30 kg/10 a (仮苗床) +30 kg/10 a (本圃) 土壌混和处理	仮植17日前+定植20日前	184	圃場D:<0.005			
	164		圃場A:<0.005 (#)				
124	圃場B:<0.005 (#)						
チャービル (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	20 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種42日前	112	圃場A:<0.01
					は種41日前	87	圃場B:<0.01
みょうが (可食部)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	定植49日前	143	圃場A:<0.002
					定植40日前	172	圃場B:0.002
しそ (茎葉)	2	98.0%粉粒剤	30 kg/10 a 土壌混和处理	1	は種13, 21, 30日前	104, 110, 124	圃場A:0.006 (1回, は種13日前, 104日)
					は種14, 20, 30日前	112	圃場B:0.005

注1) 「最大残留量」欄に記載した残留値は、メチルイソチオシアネート及びダズネットをメチルイソチオシアネートに換算したものの和。

最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

メタムアンモニウム作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 ^{注1)} (ppm)	
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期		
たまねぎ (りん茎)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種24日前処理	280	圃場A:<0.005
					は種28日前処理	259	圃場B:<0.005
こんにゃく (球茎)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付24日前処理	169	圃場A:<0.005
					植付26日前処理	171	圃場B:<0.005
きゅうり (果実)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付17日前処理	56	圃場A:0.003
					植付14日前処理	58	圃場B:0.003
すいか (果実)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	91	圃場A:<0.003
					植付22日前処理	107	圃場B:<0.003
キャベツ (葉球)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	69	圃場A:<0.003
						77	圃場B:<0.003
はくさい (茎葉)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	植付14日前処理	75	圃場A:<0.003
						97	圃場B:<0.003
根深ねぎ (茎葉)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	253	圃場B:<0.003
葉ねぎ (茎葉)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種20日前処理	269	圃場A:<0.003
					は種14日前処理	224	圃場B:<0.003
だいこん (根部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, は種14日前, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん (葉部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	74, 78	圃場A:<0.003 (1回, は種14日前, 74日)
						62	圃場B:<0.003
だいこん(つまみ菜) (茎葉部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	24	圃場A:<0.003
						23	圃場B:<0.003
だいこん(間引き菜) (茎葉部)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌灌注処理	1	は種14日前処理	35	圃場A:<0.003
						34	圃場B:<0.003
トマト (果実)	2	50.0%液剤	3倍希釈 90 L/10 a 土壌混和処理	1	作付37日前処理	115	圃場A:<0.003
					作付17日前処理	96	圃場B:<0.003
ほうれんそう (茎葉)	4	50.0%液剤	100倍希釈 3000 L/10 a 灌水チューブ処理	1	は種15日前処理	60	圃場A:0.008
					は種14日前処理	55	圃場B:0.007
						54, 61, 68	圃場C:0.014 (1回, は種14日前, 54日)
いちご (果実)	2	50.0%液剤	100倍希釈 4000 L/10 a 灌水チューブ処理	1	植付14日前処理	104	圃場A:<0.003 (#) ^{注2)}
					植付13日前処理	118	圃場B:<0.003 (#)

注1) 「最大残留量」欄に記載した残留値は、メチルイソチオシアネート及びメタムアンモニウムをメチルイソチオシアネートに換算したものの和。

最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件					最大残留量 ^{注1)} (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
ばれいしょ (塊茎)	1	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前	134	圃場A:0.03
	1		原液 80 L/10 a 土壌注入	1	植付16日前	104	圃場A:0.005 (#) ^{注2)}
さといも (塊茎)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前	196	圃場A:<0.005
	2				植付17日前	230	圃場B:<0.005
かんしょ (塊根)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植22日前	144	圃場A:<0.005
					定植17日前	137	圃場B:<0.005
やまのいも (塊茎)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植27日前	196	圃場A:<0.01
					定植29日前	209	圃場B:<0.01
こんにゃく (球茎)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	植付32日前	166, 177	圃場A:<0.005 (1回, 植付32日前, 166日)
	2				植付19日前	159, 169	圃場B:0.007 (1回, 植付19日前, 159日)
だいこん (葉部)	4	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	74	圃場A:<0.005
					3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	は種18日前	98
だいこん (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	69	圃場D:0.006
					3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	は種21日前	74
だいこん(幼葉) (つまみ菜・間引き菜)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種18日前	77	圃場C:<0.003
					は種17日前	69	圃場D:0.005
かぶ (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	28, 35	圃場A:0.032 (1回, は種21日前, 28日)
					は種17日前	122	圃場B:0.030 (1回, は種21日前, 31日)
かぶ (葉部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種18日前	66	圃場A:<0.005
					は種17日前	122	圃場B:<0.005
はくさい (茎葉)	2	30.0%液剤	2倍希釈 160 L/10 a 土壌散布混和	1	作付15日前	78	圃場A:<0.005 (#)
					作付18日前	130	圃場B:<0.005 (#)
キャベツ (茎葉)	4	30.0%液剤	原液 80 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	98	圃場A:<0.005 (#)
					定植18日前	130	圃場B:0.006 (#)
ブロッコリー (花蕾)	2	30.0%液剤	原液 63.3 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	70	圃場C:0.005 (#)
					原液 60 L/10 a 土壌注入	定植16日前	98
ごぼう (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植14日前	90	圃場A:<0.006
					は種21日前	161	圃場B:<0.005
レタス (茎葉)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	は種18日前	182	圃場B:<0.005
					定植17日前	63	圃場A:<0.003
たまねぎ (鱗茎)	2	30.0%液剤	8倍希釈 640 L/10 a 土壌表面散布	1	定植17日前	60	圃場B:0.003
					7倍希釈 560 L/10 a 土壌表面散布	は種20日前	174
ねぎ (茎葉)	5	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	は種16日前	296	圃場B:0.008
					3倍希釈 60 L/10 a 土壌散布混和	定植21日前	66
					移植17日前	61	圃場B:0.005
					3.7倍希釈 222 L/10 a 土壌散布混和	定植23日前	195
					定植17日前	84	圃場D:0.003
					定植14日前	167	圃場E:<0.002

メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件					最大残留量 ^{注1)} (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
にんにく (鱗茎)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植17日前	293	圃場A:0.02
					定植27日前	278	圃場B:0.02
にら (茎葉)	2	30.0%液剤	100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植21日前	213	圃場A:<0.005
					定植14日前	137	圃場B:0.005
にら (花茎)	2	30.0%液剤	42倍希釈 2500 L/10 a 土壌表面散布 (灌水処理)	1	定植10日前	107, 114, 121	圃場A:0.01 (1回, 定植10日前, 107日)
						112, 119, 126, 147	圃場B:0.02 (1回, 定植10日前, 119日)
にんじん (根部)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	126, 133	圃場A:<0.005 (1回, は種21日前, 126日)
					は種20日前	158	圃場B:<0.005 (1回, は種21日前, 145日)
	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種17日前	127	圃場A:<0.003		
			は種17日前	127	圃場B:<0.003		
トマト (果実)	4	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	76	圃場A:0.002
					定植21日前	79	圃場B:<0.005
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前	67	圃場C:<0.003
					定植26日前	108	圃場D:<0.003
ピーマン (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植20日前	70	圃場A:0.008
					定植18日前	59	圃場B:<0.005
	原液 80 L/10 a 土壌注入		定植24日前	75	圃場A:<0.01 (#)		
			定植21日前	83	圃場B:<0.01 (#)		
なす (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植17日前	59	圃場A:<0.005
					定植17日前	77	圃場B:<0.005
	原液 80 L/10 a 土壌注入		定植21日前	84	圃場A:<0.01 (#)		
			定植21日前	76	圃場B:<0.01 (#)		
きゅうり (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植10日前	49, 56	圃場A:<0.005 (1回, 定植10日前, 49日)
					定植21日前	62, 69	圃場B:<0.005 (1回, 定植21日前, 62日)
	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植18日前		46	圃場A:<0.003	
			定植24日前		86	圃場B:0.006	
かぼちゃ (果実)	3	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植20日前	109	圃場A:<0.003
					定植17日前	87	圃場B:0.003
			5倍希釈 300 L/10 a 土壌散布混和		定植27日前	99	圃場C:0.034
すいか (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	86	圃場A:<0.005
						91	圃場B:<0.005
	100倍希釈 6000 L/10 a 土壌表面散布		定植21日前		184	圃場A:<0.003	
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		定植17日前	104	圃場B:<0.003
2	0.4 L/m ² (床土) +原液 60 L/10 a (本圃) 土壌注入	2	定植39日前	77	圃場A:<0.003 (#)		
			定植17日前	91	圃場B:0.023 (#)		
メロン (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	106	圃場A:<0.005
					定植32日前	113	圃場B:<0.005
	100倍希釈 8000 L/10 a 土壌表面散布		定植36日前		137	圃場A:<0.005	
			3倍希釈 240 L/10 a 土壌表面散布		定植17日前	96	圃場B:<0.005
ほうれんそう (茎葉)	4	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前	51, 64	圃場A:0.044 (1回, は種17日前, 51日)
					は種17日前	51, 58	圃場B:0.028 (1回, は種17日前, 58日)
			3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		は種19日前	55	圃場C:0.005
					は種20日前	50	圃場D:0.004
チンゲンサイ (茎葉)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	44	圃場A:0.02
					定植21日前	45	圃場B:<0.01
みずな (茎葉)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前	55	圃場A:0.06
						49	圃場B:0.02

メタムナトリウム（カーバムナトリウム塩）作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件					最大残留量 ^{注1)} (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
しょうが (塊茎)	2	30.0%液剤	原液 60 L/10 a 土壌注入	1	定植27日前	195	圃場A:<0.005
					定植41日前	229	圃場B:<0.005
未成熟えんどう (さや)	3	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	は種18日前	121	圃場A:0.011
					は種19日前	140	圃場B:<0.003
					定植20日前	82	圃場C:<0.003
みょうが (花穂)	2	30.0%液剤	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和	1	定植33日前	230	圃場A:<0.003
					定植17日前	76	圃場B:<0.003
いちご (果実)	2	30.0%液剤	原液 40 L/10 a 土壌注入	1	定植21日前	158, 165	圃場A:<0.005 (1回, 定植21日前, 158日)
						140, 148	圃場B:<0.005 (1回, 定植21日前, 140日)
	3倍希釈 180 L/10 a 土壌散布混和		植付17日前		96	圃場A:<0.003	
			植付18日前		131	圃場B:<0.003	

注1) 「最大残留量」欄に記載した残留値は、メチルイソチオシアネート及びメタムナトリウムをメチルイソチオシアネートに換算したものの和。

最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合のみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内ではない試験条件を斜体で示した。

メチルイソチオシアネート作物残留試験一覧表

農作物	試験圃場数	試験条件					最大残留量 ^{注1)} (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
やまのいも (塊茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付30日前処理	197	圃場A:0.057
					植付36日前処理	243	圃場B:<0.005
こんにやく (球茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前処理	178	圃場A:0.006
					植付16日前処理	162	圃場B:<0.005
だいこん (根部)	6	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.02
						81	圃場D:<0.02
					は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, は種14日前, 69日)
	61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, は種14日前, 61日)					
だいこん (葉部)	6	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	86	圃場A:<0.04
					は種19日前処理	82	圃場B:<0.04
					は種21日前処理	76	圃場C:<0.01
						81	圃場D:<0.01
					は種14日前処理	69, 76, 83	圃場E:<0.01 (1回, は種14日前, 69日)
	61, 69, 75	圃場F:<0.01 (1回, は種14日前, 61日)					
だいこん (つまみ菜・間引き菜)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種14日前処理	22, 28	圃場A:<0.01 (1回, は種14日前, 22日)
						26, 34	圃場B:0.01 (1回, は種14日前, 26日)
かぶ (根部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	76	圃場A:<0.005
					は種30日前処理	78	圃場B:<0.005
かぶ (葉部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	76	圃場A:<0.005
					は種30日前処理	78	圃場B:<0.005
はくさい (茎葉)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付34日前処理	108	圃場A:<0.005
					植付22日前処理	90	圃場B:<0.005
キャベツ (葉球)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	176	圃場A:<0.005
					植付16日前処理	86	圃場B:<0.005
ごぼう (根部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種21日前処理	191, 198, 205	圃場A:<0.01 (1回, は種21日前, 191日)
						161, 168, 175	圃場B:<0.01 (1回, は種21日前, 161日)
レタス (茎葉)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	116, 123, 130	圃場A:<0.01 (1回, 植付21日前, 116日)
						52, 59, 66	圃場B:<0.01 (1回, 植付21日前, 52日)
たまねぎ (鱗茎)	2	20.0%油剤	46.2 L/10 a 土壌注入	1	植付14日前処理	194, 201, 208	圃場A:<0.01 (1回, 植付14日前, 194日)
					植付21日前処理	201, 208, 215	
			40 L/10 a 土壌注入	1	植付14日前処理	185, 192, 199	圃場B:0.01 (1回, 植付14日前, 192日)
					植付21日前処理		
ねぎ (根深ねぎ) (茎葉)	3	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	182	圃場A:<0.005
					植付31日前処理	146	圃場B:<0.005
					植付13日前処理	173, 180, 187	圃場C:<0.02 (1回, 植付13日前, 173日)
ねぎ (葉ねぎ) (茎葉)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付27日前処理	113, 120, 127	圃場A:<0.01 (1回, 植付27日前, 113日)
					植付14日前処理	88, 95, 102	圃場B:<0.02 (1回, 植付14日前, 88日)
にんにく (鱗茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	292	圃場A:0.034 (#) ^{注2)}
						239	圃場B:<0.005 (#)
らっきょう (鱗茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付24日前処理	305	圃場A:<0.005
					植付21日前処理	292	圃場B:0.012
にんじん (根部)	5	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種15日前処理	134, 197	圃場A:<0.05 (1回, は種15日前, 134日)
					は種20日前処理	185	圃場B:<0.05
					は種27日前処理	143	圃場C:<0.005
					は種28日前処理	147	圃場D:<0.005
			44.4 L/10 a 土壌注入	1	は種17日前処理	166, 233	圃場E:<0.05 (1回, は種17日前, 166日)
トマト (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付18日前処理	71, 84	圃場A:0.017 (1回, 植付18日前, 71日)
					植付17日前処理	65, 73	圃場B:<0.005 (1回, 植付17日前, 65日)
ミニトマト (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付17日前処理	80, 87, 94	圃場A:0.03 (1回, 植付17日前, 80日)
					植付18日前処理	98, 105, 112	圃場B:<0.01 (1回, 植付18日前, 98日)
なす (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付19日前処理	54, 75	圃場A:0.012 (1回, 植付19日前, 54日)
					植付18日前処理	71, 84	圃場B:<0.005 (1回, 植付18日前, 71日)

メチルイソチオシアネート作物残留試験一覧表

農作物	試験 圃場数	試験条件					最大残留量 ^{注1)} (ppm)
		剤型	使用量・使用方法	回数	使用時期	経過日数	
きゅうり (果実)	4	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付15日前処理	52, 77	圃場A:<0.003 (1回, 植付15日前, 52日)
						65, 76, 88	圃場B:<0.003 (1回, 植付15日前, 65日)
					植付21日前処理	54, 63, 75	圃場C:0.006 (1回, 植付21日前, 63日)
						67, 78, 88	圃場D:0.005 (1回, 植付21日前, 67日)
すいか (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付21日前処理	94	圃場A:0.009
					植付22日前処理	114	圃場B:<0.005
メロン (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	112	圃場A:<0.005
					植付30日前処理	113	圃場B:<0.005
ほうれんそう (茎葉)	4	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	は種28日前処理	89	圃場A:0.033
					は種29日前処理	72	圃場B:0.006
					は種28日前処理	66	圃場C:0.031
						57	圃場D:0.015
しょうが (根茎)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付20日前処理	159, 166, 173	圃場A:<0.01 (1回, 植付20日前, 159日)
					植付21日前処理	228, 235, 242	圃場B:<0.01 (1回, 植付21日前, 228日)
ふき (可食部)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付28日前処理	140	圃場A:<0.005
						155	圃場B:<0.005
いちご (果実)	2	20.0%油剤	40 L/10 a 土壌注入	1	植付22日前処理	206	圃場A:<0.005
					植付17日前処理	237	圃場B:<0.005

注1) 最大残留量：当該農薬の申請の範囲内で最も多量に用い、かつ最終使用から収穫までの期間を最短とした場合の作物残留試験（いわゆる最大使用条件下の作物残留試験）を複数の圃場で実施し、それぞれの試験から得られた残留量。（参考：平成10年8月7日付「残留農薬基準設定における暴露評価の精密化に係る意見具申」）

表中、最大使用条件下の作物残留試験条件に、アンダーラインを付しているが、経時的に測定されたデータがある場合において、収穫までの期間が最短の場合にのみ最大残留量が得られるとは限らないため、最大使用条件以外で最大残留量が得られた場合は、その使用回数及び経過日数について（ ）内に記載した。

注2) (#)印で示した作物残留試験は、申請の適用範囲内で試験が行われていない。なお、適用範囲内で実施されていない試験条件を斜体で示した。

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
小麦 大麦		0.1 0.1				
ばれいしょ さといも類(やつがしらを含む。) かんしょ やまいも(長いもをいう。) こんにゃくいも その他のいも類	0.2 0.02 0.02 0.3 0.05	0.5 0.5 0.5 0.5 0.5	○ ○ ○ ○ ○			Na:0.005(#),0.03(\$) Na:<0.003,<0.003 Na:<0.005,<0.005 MITC:<0.005,0.057(\$) Na:<0.01,<0.01
てんさい	0.02	0.1	○			D:<0.005,<0.005(#)
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根 だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉 かぶ類の根	0.05 2 0.02	0.5 0.5 0.5	○ ○・申 ○			MITC:<0.01-<0.04(n=6) D:0.021,0.599(\$)(つまみ菜) D:<0.005(n=4) Na:<0.005,<0.005 MITC:<0.005,<0.005 D:<0.005,<0.005 Na:<0.005,<0.005 MITC:<0.005,<0.005
かぶ類の葉	0.02	0.5	○			MITC:<0.005,<0.005 D:<0.005,<0.005 Na:<0.005,<0.005 MITC:<0.005,<0.005
西洋わさび クレソン はくさい		0.5 0.5 0.5				D:<0.005-<0.006(n=4) NH4:<0.003,<0.003 MITC:<0.005,<0.005 D,MITC:<0.005,<0.005 NH4:<0.003,<0.003
キャベツ	0.02	0.5	○			D:<0.005-<0.006(n=4) NH4:<0.003,<0.003 MITC:<0.005,<0.005 D,MITC:<0.005,<0.005 NH4:<0.003,<0.003
芽キャベツ ケール こまつな きょうな チンゲンサイ カリフラワー ブロッコリー その他のあぶらな科野菜		0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5				D:0.004,0.004 Na:0.02,0.06(\$)(みずな) Na:<0.01,0.02 D:<0.002,<0.002 Na:<0.006,<0.006 D:<0.008,0.032(\$)(つぼみな)
ごぼう サルシフィー アーティチョーク チコリ エンダイブ しゅんぎく レタス(サラダ菜及びちしゃを含む。)	0.05	0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5 0.5	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○			MITC:<0.01,<0.01 D:<0.004,0.013 D:<0.004-<0.02(n=4) MITC:<0.01,<0.01 D:<0.02,<0.02(葉ごぼう)
たまねぎ ねぎ(リーキを含む。)	0.1 0.1	0.5 0.5	○ ○			D:<0.02,0.02 D:<0.02(n=4) MITC:<0.01,<0.02(葉ねぎ) MITC:<0.005,0.034(#)(\$) D:<0.008,<0.008
にんにく にら アスパラガス わけぎ その他のゆり科野菜	0.2 0.03 0.1 0.1	0.5 0.5 0.5 0.5	○ ○ ○ ○			(MITC:葉ねぎ,<0.005, <0.005,<0.02(根深ねぎ)参照) D:<0.02,<0.02(葉たまねぎ) D:0.013,0.016(らっきょう) Na:0.01,0.02(にら(花茎))
にんじん パースニップ パセリ セロリ みつば その他のせり科野菜	0.1 0.03 0.01 0.1 0.2	0.5 0.5 0.5 0.5 0.5	○ ○ ○ ○ ○			MITC:<0.005-<0.05(n=5) D:0.005,0.007 D:0.002,0.002 D:<0.02,<0.02 D:<0.04,<0.04(あしたば)
トマト	0.5	0.5	○			D:<0.02,0.111(\$)

食品名	基準値案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
ピーマン	0.1	0.5	○			D:<0.02,<0.02
なす	0.05	0.5	○			MITC:<0.005,0.012
その他のなす科野菜	0.02	0.5	○			D:<0.004,<0.004(ししとう)
きゅうり(ガーキンを含む。)	0.05	0.5	○			D:<0.002-0.036(n=22)
かぼちゃ(スカッシュを含む。)	0.1	0.5	○			D:0.018,0.022
しろうり		0.5				
すいか	0.05	0.1	○			MITC:<0.005,0.009(\$)
メロン類果実	0.02	0.1	○			Na:<0.005,<0.005 MITC:<0.005,<0.005
まくわうり		0.1				
その他のうり科野菜	0.1	0.5	○			D:<0.01,0.02(にがうり)
ほうれんそう	0.2	0.5	○			Na:0.004-0.044(\$)(n=4)
たけのこ		0.5				
オクラ		0.5				
しょうが	0.1	0.5	○			D:<0.02,<0.02
未成熟えんどう	0.1	0.5	○			D:0.006,0.018(\$)(さやえんどう)
未成熟いんげん	0.02	0.5	○			D:<0.004,<0.004
えだまめ	0.05	0.5	○			D:<0.009,<0.009
マッシュルーム		0.5				
しいたけ		0.5				
その他のきのこ類		0.5				
その他の野菜	0.1	0.5	○			(えだまめ,さやいんげん,さやえんどう参照)
みかん		0.1				
なつみかんの果実全体		0.1				
レモン		0.1				
オレンジ(ネーブルオレンジを含む。)		0.1				
グレープフルーツ		0.1				
ライム		0.1				
その他のかんきつ類果実		0.1				
りんご		0.1				
日本なし		0.1				
西洋なし		0.1				
マルメロ		0.1				
びわ		0.1				
もも		0.1				
ネクタリン		0.1				
あんず(アプリコットを含む。)		0.1				
すもも(ブルーンを含む。)		0.1				
うめ		0.1				
おうとう(チェリーを含む。)		0.1				
いちご	0.02	0.1	○			NH4:<0.003,<0.003 Na:<0.003,<0.003 MITC:<0.005,<0.005
ラズベリー		0.1				
ブラックベリー		0.1				
ブルーベリー		0.1				
クランベリー		0.1				
ハックルベリー		0.1				
その他のベリー類果実		0.1				
ぶどう		0.1				
かき		0.1				
バナナ		0.1				
キウイ		0.1				
パパイヤ		0.1				
アボカド		0.1				

食品名	基準値 案 ppm	基準値 現行 ppm	登録 有無	参考基準値		作物残留試験成績等 ppm
				国際 基準 ppm	外国 基準値 ppm	
パイナップル		0.1				
グアバ		0.1				
マンゴー		0.1				
パッションフルーツ		0.1				
なつめやし		0.1				
その他の果実		0.1				
ひまわりの種子		0.1				
ごまの種子		0.1				
べにばなの種子		0.1				
綿実		0.1				
なたね		0.1				
その他のオイルシード		0.1				
ぎんなん		0.1				
くり		0.1				
ペカン		0.1				
アーモンド		0.1				
くるみ		0.1				
その他のナッツ類		0.1				
茶		0.1				
その他のスパイス		0.5				
その他のハーブ	0.1	0.5	○			(MITC:葉ねぎ,根深ねぎ参照)

平成17年11月29日厚生労働省告示第499号において新しく設定した基準値については、網をつけて示した。
 「登録有無」の欄に「申」の記載があるものは、国内において農薬の登録申請等の基準値設定依頼がなされたものであることを示している。
 (#)これらの作物残留試験は、申請の範囲内で試験が行われていない。
 (\$)これらの作物残留試験は、試験成績のばらつきを考慮し、この印をつけた残留値を基準値策定の根拠とした。
 作物残留試験成績等については、ダゾメット(D)、メタムアンモニウム(NH4)、メタムナトリウム(Na)及びメチルイソチオシアネート(MITC)の内、最大残留量が認められた剤の試験成績をMITCに換算した値で表している。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネート推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
ばれいしょ	0.2	7.7	6.8	8.4	7.0
さといも類 (やつがしらを含む。)	0.02	0.1	0.0	0.0	0.2
かんしょ	0.02	0.1	0.1	0.2	0.2
やまいも (長いものをいう。)	0.3	0.9	0.3	0.5	1.3
こんにゃくいも	0.05	0.1	0.0	0.0	0.1
てんさい	0.02	0.7	0.6	0.8	0.7
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	0.05	1.7	0.6	1.0	2.3
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	2	3.4	1.2	6.2	5.6
かぶ類の根	0.02	0.1	0.0	0.0	0.1
かぶ類の葉	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
はくさい	0.02	0.4	0.1	0.3	0.4
キャベツ	0.02	0.5	0.2	0.4	0.5
こまつな	0.02	0.1	0.0	0.1	0.1
きょうな	0.3	0.7	0.1	0.4	0.8
チンゲンサイ	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2
カリフラワー	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
ブロッコリー	0.03	0.2	0.1	0.2	0.2
その他のあぶらな科野菜	0.2	0.7	0.1	0.2	1.0
ごぼう	0.05	0.2	0.1	0.2	0.2
しゅんぎく	0.05	0.1	0.0	0.1	0.1
レタス (サラダ菜及びちりしゃを含む。)	0.05	0.5	0.2	0.6	0.5
その他のきく科野菜	0.1	0.2	0.0	0.1	0.3
たまねぎ	0.1	3.1	2.3	3.5	2.8
ねぎ (リーキを含む。)	0.1	0.9	0.4	0.7	1.1
にんにく	0.2	0.1	0.0	0.2	0.1
にら	0.03	0.1	0.0	0.1	0.1
わけぎ	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
その他のゆり科野菜	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
にんじん	0.1	1.9	1.4	2.3	1.9
パセリ	0.03	0.0	0.0	0.0	0.0
セロリ	0.01	0.0	0.0	0.0	0.0
みつば	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
その他のせり科野菜	0.2	0.0	0.0	0.1	0.1
トマト	0.5	16.1	9.5	16.0	18.3
ピーマン	0.1	0.5	0.2	0.8	0.5
なす	0.05	0.6	0.1	0.5	0.9
その他のなす科野菜	0.02	0.0	0.0	0.0	0.0
きゅうり (ガーキンを含む。)	0.05	1.0	0.5	0.7	1.3
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	0.1	0.9	0.4	0.8	1.3
すいか	0.05	0.4	0.3	0.7	0.6
メロン類果実	0.02	0.1	0.1	0.1	0.1
その他のうり科野菜	0.1	0.3	0.1	0.1	0.3
ほうれんそう	0.2	2.6	1.2	2.8	3.5
しょうが	0.1	0.2	0.0	0.1	0.2
未成熟えんどう	0.1	0.2	0.1	0.0	0.2
未成熟いんげん	0.02	0.0	0.0	0.0	0.1
えだまめ	0.05	0.1	0.1	0.0	0.1
その他の野菜	0.1	1.3	0.6	1.0	1.4

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネート推定摂取量 (単位: $\mu\text{g}/\text{人}/\text{day}$)

食品名	基準値案 (ppm)	一般 (1歳以上) TMDI	幼小児 (1~6歳) TMDI	妊婦 TMDI	高齢者 (65歳以上) TMDI
いちご	0.02	0.1	0.2	0.1	0.1
その他のハーブ	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1
計		48.8	28.1	50.6	56.8
ADI比 (%)		22.2	42.6	21.6	25.3

TMDI: 理論最大1日摂取量 (Theoretical Maximum Daily Intake)

TMDI試算値: 基準値案 \times 各食品平均摂取量

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネート推定摂取量（短期）：一般(1歳以上)

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARfD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.2	1.9	2
さといも類 (やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0.1	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.3	0
やまいも (長いもをいう。)	やまいも	0.3	0.3	2.4	2
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.05	0.05	0.6	1
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの葉	2	2	16.5	20
かぶ類の根	かぶの根	0.02	0.02	0.1	0
かぶ類の葉	かぶの葉	0.02	0.02	0.1	0
はくさい	はくさい	0.02	0.02	0.3	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.2	0
こまつな	こまつな	0.02	0.02	0.1	0
きょうな	きょうな	0.3	0.3	1.0	1
チンゲンサイ	チンゲンサイ	0.1	0.1	0.7	1
カリフラワー	カリフラワー	0.01	0.01	0.1	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.2	0
その他のあぶらな科野菜	たかな	0.2	0.2	1.6	2
	菜花	0.2	0.2	0.6	1
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.2	0
しゅんぎく	しゅんぎく	0.05	0.05	0.2	0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.05	0.05	0.3	0
	非結球レタス類	0.05	0.05	0.2	0
	レタス	0.05	0.05	0.3	0
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	0.8	1
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.1	0.1	0.4	0
にんにく	にんにく	0.2	0.2	0.1	0
にら	にら	0.03	0.03	0.0	0
わけぎ	わけぎ	0.1	0.1	0.2	0
その他のゆり科野菜	にんにくの芽	0.1	0.1	0.2	0
	らっきょう	0.1	0.1	0.1	0
にんじん	にんじん	0.1	0.1	0.4	0
	にんじんジュース	0.1	0.1	0.7	1
パセリ	パセリ (生)	0.03	0.03	0.0	0
	パセリ (乾燥)	0.03	0.03	0.0	0
セロリ	セロリ	0.01	0.01	0.1	0
みつば	みつば	0.1	0.1	0.1	0
その他のせり科野菜	せり	0.2	0.2	0.3	0
トマト	トマト	0.5	0.5	5.5	6
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.3	0
なす	なす	0.05	0.05	0.3	0
その他のなす科野菜	とうがらし (生)	0.02	0.02	0.0	0
	ししとう	0.02	0.02	0.0	0
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.05	0.05	0.3	0
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.1	0.1	1.0	1
	ズッキーニ	0.1	0.1	0.7	1
ずいか	ずいか	0.05	0.05	1.6	2
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.3	0
その他のうり科野菜	とうがん	0.1	0.1	1.7	2
	にがうり	0.1	0.1	0.8	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.2	0.2	1.0	1
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.1	0.1	0.2	0
	未成熟えんどう (豆)	0.1	0.1	0.2	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.0	0
えだまめ	えだまめ	0.05	0.05	0.1	0
その他の野菜	ずいき	0.1	0.1	1.0	1
	もやし	0.1	0.1	0.2	0
	れんこん	0.1	0.1	0.6	1
	そら豆 (生)	0.1	0.1	0.3	0
いちご	いちご	0.02	0.02	0.1	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARfD (%)の値は、有効数字1桁 (値が100を超える場合は有効数字2桁) とし四捨五入して算出した。

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネート推定摂取量（短期）：幼小児（1～6歳）

食品名 (基準値設定対象)	食品名 (ESTI推定対象)	基準値案 (ppm)	評価に用いた 数値 (ppm)	ESTI ($\mu\text{g}/\text{kg}$ 体重 /day)	ESTI/ARFD (%)
ばれいしょ	ばれいしょ	0.2	0.2	4.5	5
さといも類 (やつがしらを含む。)	さといも	0.02	0.02	0.3	0
かんしょ	かんしょ	0.02	0.02	0.5	1
やまいも (長いもをいう。)	やまいも	0.3	0.3	4.1	4
だいこん類 (ラディッシュを含む。)	だいこんの根	0.05	0.05	1.1	1
はくさい	はくさい	0.02	0.02	0.3	0
キャベツ	キャベツ	0.02	0.02	0.3	0
こまつな	こまつな	0.02	0.02	0.2	0
ブロッコリー	ブロッコリー	0.03	0.03	0.4	0
ごぼう	ごぼう	0.05	0.05	0.3	0
レタス (サラダ菜及びちしゃを含む。)	レタス類	0.05	0.05	0.5	1
	非結球レタス類	0.05	0.05	0.7	1
	レタス	0.05	0.05	0.4	0
たまねぎ	たまねぎ	0.1	0.1	1.8	2
ねぎ (リーキを含む。)	ねぎ	0.1	0.1	0.6	1
にんにく	にんにく	0.2	0.2	0.1	0
にら	にら	0.03	0.03	0.1	0
にんじん	にんじん	0.1	0.1	1.0	1
パセリ	パセリ (生)	0.03	0.03	0.0	0
トマト	トマト	0.5	0.5	13.6	10
ピーマン	ピーマン	0.1	0.1	0.7	1
なす	なす	0.05	0.05	0.8	1
きゅうり (ガーキンを含む。)	きゅうり	0.05	0.05	0.7	1
かぼちゃ (スカッシュを含む。)	かぼちゃ	0.1	0.1	1.6	2
すいか	すいか	0.05	0.05	4.3	4
メロン類果実	メロン	0.02	0.02	0.6	1
ほうれんそう	ほうれんそう	0.2	0.2	2.2	2
しょうが	しょうが	0.1	0.1	0.1	0
未成熟えんどう	未成熟えんどう (さや)	0.1	0.1	0.1	0
	未成熟えんどう (豆)	0.1	0.1	0.2	0
未成熟いんげん	未成熟いんげん	0.02	0.02	0.1	0
えだまめ	えだまめ	0.05	0.05	0.1	0
その他の野菜	もやし	0.1	0.1	0.4	0
	れんこん	0.1	0.1	1.0	1
いちご	いちご	0.02	0.02	0.2	0

ESTI：短期推定摂取量 (Estimated Short-Term Intake)

ESTI/ARFD(%)の値は、有効数字1桁（値が100を超える場合は有効数字2桁）とし四捨五入して算出した。

(参考)

これまでの経緯

平成17年11月29日	残留基準告示
平成25年3月29日	農林水産省から厚生労働省へ農薬登録申請に係る連絡及び基準値設定依頼（適用拡大：だいこん（つまみ菜及び間引き菜））
平成25年6月11日	厚生労働大臣から食品安全委員会委員長あてに残留基準設定に係る食品健康影響評価について要請
平成27年3月24日	食品安全委員会委員長から厚生労働大臣あてに食品健康影響評価について通知
平成28年11月17日	薬事・食品衛生審議会への諮問
平成28年11月21日	薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

● 薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会農薬・動物用医薬品部会

[委員]

穂山 浩	国立医薬品食品衛生研究所食品部長
石井 里枝	埼玉県衛生研究所化学検査室長
○大野 泰雄	公益財団法人木原記念横浜生命科学振興財団理事長
尾崎 博	東京大学大学院農学生命科学研究科獣医薬理学教室教授
斉藤 貢一	星薬科大学薬品分析化学教室教授
佐々木 一昭	東京農工大学大学院農学研究院動物生命科学部門准教授
佐藤 清	一般財団法人残留農薬研究所技術顧問
佐野 元彦	東京海洋大学海洋生物資源学部門教授
永山 敏廣	明治薬科大学薬学部薬学教育研究センター基礎薬学部門教授
根本 了	国立医薬品食品衛生研究所食品部第一室長
二村 睦子	日本生活協同組合連合会組織推進本部組合員活動部部長
宮井 俊一	一般社団法人日本植物防疫協会技術顧問
由田 克士	大阪市立大学大学院生活科学研究科公衆栄養学教授
吉成 浩一	静岡県立大学薬学部衛生分子毒性学分野教授
鰐淵 英機	大阪市立大学大学院医学研究科分子病理学教授

(○：部会長)

答申

ダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネート

食品名	残留基準値 ppm	
ばれいしょ さといも類(やつがしらを含む。) かんしょ やまいも(長いものをいう。) こんにゃくいも	0.2 0.02 0.02 0.3 0.05	※今回基準値を設定するダズメット、メタム及びメチルイソチオシアネートとは、メチルイソチオシアネート、ダズメットをメチルイソチオシアネートに換算したものと及びメタムをメチルイソチオシアネートに換算したものの和をいう。
てんさい	0.02	ただし、メタムにはメタムアンモニウム、メタムナトリウム及びメタムカリウムが含まれるものとする。
だいこん類(ラディッシュを含む。)の根 だいこん類(ラディッシュを含む。)の葉 かぶ類の根 かぶ類の葉 はくさい キャベツ こまつな きょうな チンゲンサイ カリフラワー ブロッコリー その他のあぶらな科野菜 ^{注1)}	0.05 2 0.02 0.02 0.02 0.02 0.02 0.3 0.1 0.01 0.03 0.2	注1)「その他のあぶらな科野菜」とは、あぶらな科野菜のうち、だいこん類の根、だいこん類の葉、かぶ類の根、かぶ類の葉、西洋わさび、クレソン、はくさい、キャベツ、芽キャベツ、ケール、こまつな、きょうな、チンゲンサイ、カリフラワー、ブロッコリー及びハーブ以外のものをいう。
ごぼう しゅんぎく レタス(サラダ菜及びちしやを含む。) その他のきく科野菜 ^{注2)}	0.05 0.05 0.05 0.1	注2)「その他のきく科野菜」とは、きく科野菜のうち、ごぼう、サルシフィー、アーティチョーク、チコリ、エンダイブ、しゅんぎく、レタス及びハーブ以外のものをいう。
たまねぎ ねぎ(リーキを含む。) にんにく にら わけぎ その他のゆり科野菜 ^{注3)}	0.1 0.1 0.2 0.03 0.1 0.1	注3)「その他のゆり科野菜」とは、ゆり科野菜のうち、たまねぎ、ねぎ、にんにく、にら、アスパラガス、わけぎ及びハーブ以外のものをいう。
にんじん パセリ セロリ みつば その他のせり科野菜 ^{注4)}	0.1 0.03 0.01 0.1 0.2	注4)「その他のせり科野菜」とは、せり科野菜のうち、にんじん、パースニップ、パセリ、セロリ、みつば、スパイス及びハーブ以外のものをいう。
トマト ピーマン なす その他のなす科野菜 ^{注5)}	0.5 0.1 0.05 0.02	注5)「その他のなす科野菜」とは、なす科野菜のうち、トマト、ピーマン及びなす以外のものをいう。
きゅうり(ガーキンを含む。) かぼちゃ(スカッシュを含む。) すいか メロン類果実 その他のうり科野菜 ^{注6)}	0.05 0.1 0.05 0.02 0.1	注6)「その他のうり科野菜」とは、うり科野菜のうち、きゅうり、かぼちゃ、しろうり、すいか、メロン類果実及びまくわうり以外のものをいう。
ほうれんそう	0.2	

食品名	残留基準値 ppm
しょうが 未成熟えんどう 未成熟いんげん えだまめ	0.1 0.1 0.02 0.05
その他の野菜 ^{注7)}	0.1
いちご	0.02
その他のハーブ ^{注8)}	0.1

注7)「その他の野菜」とは、野菜のうち、いも類、てんさい、さとうきび、あぶらな科野菜、きく科野菜、ゆり科野菜、せり科野菜、なす科野菜、うり科野菜、ほうれんそう、たけのこ、オクラ、しょうが、未成熟えんどう、未成熟いんげん、えだまめ、きのこ類、スパイス及びハーブ以外のものをいう。

注8)「その他のハーブ」とは、ハーブのうち、クレンソング、にら、パセリの茎、パセリの葉、セロリの茎及びセロリの葉以外のものをいう。